

令和6年度 いなばこども園 保育教育活動に対する園評価（教職員アンケート結果）

保育・教育目標
重点目標

あかるく なかよく げんきよく
【知】 自分で考えて行動する子どもの育成
主体性を持った子どもの育成
【徳】 やさしい行動ができる子どもの育成
仲良く遊ぶ協働性を持った子どもの育成
【体】 健康な体を持った子どもの育成
意欲的に挑戦する心を持った子どもの育成

A = はい、そう思う（4点） B = 大体当てはまる（3点） C = あまり当てはまらない（2点） D = いいえ、そう思わない（1点）

	問い	A	B	C	D	得点 (昨年度)	自己評価 園としての課題や改善策	学校評価委員会 評価委員の意見
		下段はA+Bの数値	下段はA+Bの数値					
教育・保育の計画性	①園の教育理念・教育方針を理解している。	0.118	0.765	0.118	0	3.0	③と④は、担任外職員が該当しないと答え、%は低い数値である。しかし、担任ベースで見れば、高い割合で、教育目標や発達段階を意識して指導に当たっていることが伺える。 ⑥は、こ幼保小の連携が重要視される昨今、この数値の低さは問題であると言える。研修で取り上げる等、職員の意識改善を進めたい。	小学校への就学を踏まえて、小学校へ就学しても困らないように「幼児期の終わりまでに育てたい10の姿」を具体的に意識してもらい、日々の保育・教育活動に当たってほしい。 人を育てる時大切なことの一つに「叱る時は小さな声で、褒める時は大きな声で」ということがある。伸びる子は褒められることで伸びていく。こども園でも、一人ひとりの良いところをたくさん見つけて褒めてほしい。それが、主体性の伸長に繋がると思う。
		88.30%		11.80%		3.1		
	②認定こども園の教育・保育領域の理解に努めている	0.059	0.765	0.059	0.118	2.8		
		82.40%		17.70%		2.6		
	③園の教育目標や教育・保育領域を基に教育課程や指導計画を立てている。	0.118	0.471	0.059	0	2.0		
		58.90%		5.90%		1.8		
教育の在り方への対応・子ども	④乳幼児期の発達段階や実態等をベースに、歳児毎の指導計画を考え作成している。	0.412	0.235	0	0	2	①、②、③からは、一人ひとりの園児を尊重し、大切にしている保育者の姿勢が感じられます。 ④については、部内での異年齢の活動も多く、十分に交流を図っているように思われる。乳幼児間の交流の少なさは、難しいさもあり、現実的ではない。 ⑤は、園児理解研修などを行い、子ども理解に努めているように思う。	子どもをしっかりと理解すること、そのためにしっかり見取ること、子どもに掛ける言葉も変わってくる。子供を一人ひとりしっかりと受け止めているようで、安心した。 小学校の職員もこども園のことをよく知らないが、こども園の職員にも同じことが言えるのではないか。お互いの研修に参加したり、授業を参観したりするなどして、連携を深めていきたい。
	⑤子どもの生活や動き、思いを大切に環境構成を工夫している。	0.353	0.353	0.118	0	2.7		
		70.60%		11.80%		2.2		
	⑥幼児期の終わりまでに育てたい10の姿や小学校との接続を意識している。	0.118	0.471	0.294	0	2.5		
		58.90%		29.40%		2.2		
	①朝の登園時には特に視診を大切に、子どもの体調が悪くないか確かめている。	0.765	0.118	0	0	3.4		
②一人一人の思いを大切に受け止め個に応じた支援を心掛けている。	0.529	0.353	0	0	3.2			
③遊びこめるような環境や時間を配慮し、子どもの自主性、自発性を大切にしている。	0.294	0.412	0.118	0	2.6			
④行事や活動を通して、子ども同士の関わりや異年齢交流を大切にしている。	0.176	0.471	0.176	0	2.5			
	64.70%		17.60%		3.1			
⑤教職員全員が全園児について理解していくような工夫や努力をしている。	0.118	0.529	0.235	0.059	2.6			
	64.70%		29.40%		2.1			

	問い	A	B	C	D	得点 (昨年度)	自己評価 園としての課題や改善策	学校評価委員会 評価委員の意見
		下段はA+Bの数値		下段はA+Bの数値				
職・適性 の能力や良	①教職員として、話す力や聴く力の向上を意識している。	0.176	0.471	0.294	0	2.7	①の結果は、確かに「話す・聞く」という点の指導について、甘さが見られる。聴くにしても話すにしても、じっくりと子どもを待つ保育者の姿勢が大切に思われる。 人事異動の無いことが原因か、独特なヒエラルキーが構築され、互いに相手を尊重する姿勢にやや欠ける部分があるのかもしれない。	①については、小学校の教育活動でもたいへん重要視している。こども園でも是非「話す・聴く」に力点を置いた指導を行ってほしい。保育・教育の内容的な部分での連携に繋がっていくと思う。 職員同士で良好なコミュニケーションが取れないのは問題である。
	②子供や保護者との対応は、公平さを欠かさないように平等に接している。	0.529	0.412	0	0	3.4		
	③自らの健康に配慮し、爪が伸びていないか等、保育場での安全性に気をつけている。	0.824	0.059	0.059	0	3.6		
	④教職員同士のコミュニケーションを管轄にし、偏った関係を作らないようにしている。	0.294	0.471	0.176	0.059	3		
	⑤子どものささやかな成長を見取り、それを喜ぶことができる。	0.765	0.235	0	0	3.8		
	⑥園の子どものことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある。	0.353	0.412	0.235	0	3.1		
保護者への対応	①子どもの様子や園情報は、直接話すほか、電話や連絡帳を使い保護者に伝えている。	0.529	0.118	0	0	2.5	①は、数値が低い。しかし、保育者は実際のところ随分丁寧に保護者とコミュニケーションを取っていると思われる。理由は分からないが、保育者はまだまだ至らないと感じているようである。現状の努力を継続する他はない。	①については、肯定的な回答の数値は低いが、否定的な回答を行った職員は「0」である。担任外の職員が「該当しない」と回答したとのことだ。クラスを持たない職員でも、保護者に子どもの良さを伝えるよう頑張してほしい。 先生方が、保護者へ園を公開しようとする姿勢が伺える。保護者に園児の成長が伝わるように乳幼児部だよりで具体的に知らせていただけるとありがたい。
	②保護者との会話は、正しい日本語・敬語で語り掛け、話には謙虚に耳を傾けている。	0.588	0.235	0.059	0	3.2		
	③個人情報の管理について園の方針に従い、情報が流出しないようにしている。	0.647	0.294	0	0	3.5		
	④保護者からの具体的な意見・要望には適切に対応し、上司に報告・連絡・相談している。	0.588	0.235	0	0	3.1		
地域関わりとの	①園へ見学に来た人に、園の教育方針等を質問されても、きちんと答えることができる。	0.059	0.647	0.235	0.059	2.7	②、③については、地域の素材を生かした保育教育活動ができていないのは、残念である。もっと、地域に根差した保育・教育活動を行うためには職員が地域を知る必要がある。	J A婦人部など地域の人材にこども園側からもっと声を掛けてはどうだろうか。気さくにこども園の保育・教育活動をサポートしていただけたらと思う。
	②子どもの教育のために、利用したい地域の施設や機関、素材について理解している。	0.059	0.471	0.353	0.118	2.5		
	③地域開放や子育て支援について、具体的な内容を理解している。	0	0.529	0.294	0	2.2		
安心安全	①ヒヤリハットの事例について振り返りを行い、大きな事故に繋がらないようにしている。	0.294	0.353	0.176	0.059	2.6	①は、ヒヤリハットの事例研修こそ行っていないが、情報共有し互いに改善策を考えている。	防災訓練の充実には本当に感謝している。避難・防災訓練の後には、どこに隠れた方が良いか、どうやって非難するかといったことが、家庭でも話題に上る。ありがたい。
	②安全点検や検査、訓練等は適正に実施し、安全意識・防災意識を高めている。	0.529	0.412	0.059	0	3.5		
研究と修養	①職務の専門性を高め知識・技能を身に着けるようにしている。	0.059	0.706	0.178	0	2.7	①、②、④は、職場における組織的研修と個人的研修の両輪が機能して、保育者の能力向上につながると思う。 ③については、同僚と率直な意見交換のできる職場作りを本年度から進めるため、外部講師の導入を計画している。	小学校への就学を意識した研修や小学校との連携を意識した研修を行っていく必要がある。小学校も同様にこども園との連携を深める研修を行ってほしい。
	②日々の実践を見合い、検討・反省・評価を加え、教育・保育の質の向上に繋げている。	0.294	0.471	0.118	0	2.8		
	③自分の保育・教育の在り方や悩みについて、同僚や教職員の上司等と話し合っている。	0.353	0.353	0.118	0	2.7		
	④専門知識・技能のほか、趣味や読書、ボランティア活動などに関心を持っている。	0.118	0.647	0.176	0.059	2.8		

※ 合計が100%にならない問いがある。内容により「該当しません」と回答した職員が存在する為。

※ 青字は昨年度より0.5点以上伸び。赤字は0.5点以上低下。